

会議録

会議の名称	平成 31 年度(令和元年度)第 3 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議	
開催日時	令和元年 9 月 24 日(火)14:00~15:20	
開催場所	ふくとぴあ 3 階 らくらくルーム	
委員	【出席者】 勝浦 :新海悦生 津屋崎:山脇清、御厨忠男 宮司 :坂根康廣、藤山昇 福間 :佐伯美保 神興 :富松享一、山西祐司 上西郷:今里幸和、檜原純江 神興東:奥弘子、樋口英典 福間南:石橋和義、山本正則	
専任事務局員	【出席者】 花田孝信、大神常男、三原道雄、廣渡策生、石田美香、水上清香、中里恵子、古里美津子	
職員	松田副市長、赤間総務課長、木原まちづくり推進室経営戦略係長	
事務局	花田地域振興部長、辻郷づくり支援課長、徳永郷づくり支援課郷づくり支援係長、津山郷づくり支援課郷づくり支援係員	
会議	内容	1. 部長あいさつ 2. リチャリー福津公演における後援について 3. 意見交換 (1)市職員研修生(入庁 5~7 年)の活動状況について 4. 説明事項 (1)まちづくり基本構想について (2)福津市における SDGsの推進について 5. その他 (1)自治会への名簿貸与等に係る情報公開・個人情報保護審議会での審議結果について
	配付資料	<input type="checkbox"/> まちづくり基本構想(令和元年 9 月策定)からの抜粋資料 <input type="checkbox"/> 広報ふくつ 2019 No.176 9 月 1 日号

会議内容(要点)

1. 部長あいさつ

地域振興部長があいさつを述べた。

2. リチャリー福津公演における後援について

(会長)

宮司を拠点として日本全国で活動しているリチャリーという南米ペルーの音楽グループがカメリアホールで開催するコンサートを郷づくり推進協議会として後援することについて、本来であれば本日の代表者会議で語るべきところ、印刷物の納期の関係で間に合わなかったため、副会長との協議により、後援することで文面により報告させていただいた。

(委員)

公演内容も郷づくりとの交流もすばらしいが、今後は事後承諾の依頼文書ではなく、メール等可能な手段で事前に諮っていただきたい。

(会長)

事前にということで、了解した。

3. 意見交換

(1) 市職員研修生（入庁5～7年）の活動状況について

(会長)

市職員研修生の制度について、今後の有効な活用に向けて、各郷づくりにおける活動状況の情報共有をしたい。

(勝浦地域郷づくり)

いろんなイベントを行っており、参加いただき、大いに助かっている。腕章でもすれば研修生が参加していることのアピールになると感じている。

(津屋崎地域郷づくり)

今年4月からなごみに移った関係で、職員には良くしてもらっているが、市は地域担当職員から役員会の報告を受けるなど、連携は取れているのか。

(辻郷づくり支援課長)

地域担当職員の中に責任者がおり、市の業務に関して問題等があったときは責任者から市の担当課に連絡がされている。内部で連携は取れていると考えているが、再度確認する。

(宮司地区郷づくり)

各部会の活動に積極的に参加いただいている。研修生の顔や名前を知らない部会員もいるため、腕章等目立つものがあったとしても良いのではないかと。

(福間地域郷づくり)

松林ウォーク等大きなイベントには参加いただいている。昨年は地域づくり計画策定の会議に参加いただき、若手職員ならではのフレッシュな意見を出してくれた。

(神興地域郷づくり)

今のところ研修生に来ていただいたことはないが、竹灯まつりには参加をお願いしている。

(上西郷地域郷づくり)

草刈に1回参加いただいたと把握している。

(神興東地域郷づくり)

昨年度は郷づくり計画策定の際に議事録作成等に協力いただいた。

今年度は地域の祭りに参加いただいている。

休日等の関係もあり、どの程度要請してよいか基準がなく、判断のつかないところがある。どこまで声かけしてよいか分からない。

(郷づくり支援課長)

平日、休日を問わず業務等に都合がつけば、研修として参加できる。声かけしていただいて構わない。

(福間南地域郷づくり)

あまり活発な活動は行われていない。フェスタ等には出てもらっている。会議では聞くだけでなく、若い方の意見を発してもらいたい。

(会長)

郷づくりの役員や地域の方と触れ合える機会なので、遠慮せずに声かけしていただきたい。

(郷づくり支援課長)

昨年度参加した職員に対するアンケートでは、日頃の業務で地域と繋がりのない職員には意義のある研修となった一方で、研修の場があまりなかったという残念な声もあった。

ぜひとも地域の活動に触れて欲しいと考えているので、色々な場面で声をかけていただきたい。

(委員)

本来の業務を持っている職員へお願いするのに躊躇していたが、これからは遠慮せずに力を借りたいと考えている。

(委員)

研修生を活用して郷づくりの取り組みを行っていく上で、研修生のあり方についてもう少し具体的に示していただきたい。

(委員)

研修生を活動の戦力とできるのか、勉強のために来ているのか、はっきり見えてこないのが実態である。

(委員)

年度最初の挨拶だけでなく、研修生の名前と顔写真があれば良い。

(総務課長)

この研修の趣旨は、若手職員が地域に入り、地域の声を聞いて、市民目線で行政を知ってもらうことである。研修生については、地域担当職員の責任者をとおして郷づくりの研修、会議、イベント等の参加の調整をしていくのが通常の流れと考えているが、どのような流れが郷づくりとして支障がないか考えていきたい。顔写真についても郷づくり支援課と相談していきたいと考えている。出来るだけ若手職員が地域と触れ合う機会を持たせていただきたい。

4. 説明事項

(1) まちづくり基本構想について

まちづくり推進室が、9月定例会において、まちづくり基本構想が可決したことの報告を行った。

(まちづくり推進室)

まちづくり基本構想のなかで、市の目指していく将来像として「人も自然も未来につながるまち、福津」と決定した。この将来像の実現に向けて共育、地域自治、健康、安全安心、環境保全、地域産業、観光振興の7つの分野ごとに目標像が示され、取り組みを進めていくことになる。今回の基本構想の大きな特徴の一つとして、環境保全、経済成長、社会的包摂という3つを調和させ取り組みを進めていくという考え方が、SDGsの考え方に合わせた方針となっている。郷づくりに関しては、まちづくり計画のなかでも引き続き重要な柱であり、今後取り組みを進めていく上で担い手の育成、後継者育成が大きなテーマになっていくと考えている。

(2) 福津市におけるSDGsの推進について

副市長が、SDGsの推進について広報ふくつ9月1日号で説明した。

(副市長)

福津市においては、これまでの市の取り組みや市民の皆さんによって展開されてきた、郷づくりなどの住民自治、コミュニティスクール、環境保全、空き家の再生や高齢者の支え合いなど、さまざまな市民共働活動による取り組みがSDGsと折り重なっていて、それが評価されたことがSDGs未来都市に選ばれた理由の一つとなっている。これをさらに進めていくために取り組んでいる。

SDGsにおける持続可能な街づくりには、社会面、環境面、経済面の3つの側面がバランスよく統合されていくことが必要である。福津市の場合は、社会面と環境面では非常にレベルが高い一方で、経済面での課題がいくつかあるが、大きな方向性として、住民の力を生かしながら進めていこうと考えている。

市内でも多くの方々が生え合いの取り組みを行っており、先進的な取り組みも幾つも生まれている。このような取り組みが経済的にも自立し、これからの超高齢化社会にみんなが幸せで安心安全に暮らせる街になっていくためにも、いろいろな取り組み例を参考にしながら進めていきたい。

また、郷づくりが積極的に学校運営に係わっていることも、とても良い成果として現れており、未来の作り手である子供たちが、育っていくこと、それを応援していくことも持続可能な街づくりに欠かせない取り組みだと思っている。それぞれの郷づくりやコミュニティスクールでの取り組みの中にもこのSDGsの考え方を浸透させていきたい。

福津市ではSDGs推進本部を立ち上げ、市民の皆さんと推進していくために、今後SDGs応援団という取り組みを進めていきたいと考えている。これからどういった方々に参加いただくか検討していくが、郷づくり協議会は必須のパートナーであり、ぜひ一緒に進めていただきたい。

そもそもSDGsとは何かという意見にも対応し、入門編としての出前講座を開催している。SDGsの基本をお話する講座と、より具体的にゲームを通して、楽しみながら学べることができるワークショップを行っている。それぞれの地域でも出前講座を活用していただきたい。

一言でSDGsとは「自分さえよければ」を無くすことだと思っている。皆がそうすることで、他の人や未来への思いやりが生まれ、限られた資源や環境を守っていけるのではないかと考えている。

(会長)

今の郷づくりが悩んでいる2つのキーワード「持続可能」そして「担い手育成」について記載があるので、市も力を入れて協力をお願いしたい。

(委員)

郷づくりを支えている今の高齢者は可能な限り自分たちのことは自らの手でやっているが、

これからは財源的な裏づけをもって、地域自治をしっかりと市が支えていかないと、郷づくりは立ち行かなくなるということを考えていただきたい。

(会長)

郷づくりが発足して数年したときに、予算と権限の移譲をかなりやるという話を聞いて久しいが、あまり実行できていないように感じている。何らかの形で現れてきてほしいと思っている。

5. その他

(1) 自治会への名簿貸与等に係る情報公開・個人情報保護審議会での審議結果について

市は自治会加入の促進や地域活動を支援したいということで、世帯主名簿、世帯主異動名簿及び65歳以上名簿を貸与又は閲覧形式で自治会に情報提供したいと提案した。審議会では、現段階で市が名簿を提供することに、十分な公益性を認めることは出来ないという理由で不承認となった。2月開催予定の次回審議会でも再提案するが、個人情報保護法など法律の規定に反しない中での情報提供は極めて限定的で、難しいところがある。最終的な結果が出次第、自治会長には文書にて報告する。